インターネットの普及で多様化し、さまざまな情報があふれています。 地域の広報紙が果たす役割や、広報みよしは第線のプロから見てどう感じられているのでしょうか。



### 田の成盟という思念を **野冷か尼頭の種名を**

「広報みよし」に注がれている愛 情と熱量を前に、長く雑誌に携 わっている身として心から尊敬の 気持ちを感じています。「住民が 主役」「広報紙はラブレター」と いった軸のしっかりしたコンセプ ト。加えて「住民の写真は正面を 向いている写真を意図的に使用し て読者と目が合うように という 「細部へのこだわり」が加わり、 もはや既存の町の広報という概念 を軽やかに飛び越えた雑誌が生ま れています。オールドスタイルに 思われがちな紙メディアですが、 このレベルのクリエイティブを担 保できれば「町のメディア」とい うプッシュ型の情報発信が大きな 価値になるという見本のような本 ですね。さまざまな世代にリーチ できる「行き過ぎない」感じも秀 逸で、オズマガジンも勉強させて いただかなくては、と思います。 編集者として勇気をいただけるク リエイティブです。

### OZ magazine



# **広報会議**



「広観会麗」

温息長

# 程識化してきている

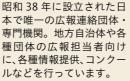
月刊『広報会議』は企業・団体で 広報活動に携わる人向けの専門誌 です。世の中に情報がたくさんあ ふれかえっている今、広報の役割 は非常に重要となっています。そ のなかで特に近年、注目されてい るのが自治体の広報です。三芳町 で制作されている広報紙などもそ の重要なツールのひとつですが、 ステークホルダーである地元の 人々に届けようと苦慮されている 自治体も多く見受けられます。そ んな課題を解決しようと、全国の 自治体で『広報会議』を手に取っ ていただく機会もずいぶん増えて きました。誌面では三芳町の広報 紙の事例を紹介させていただいた こともあるのですが、熱心に取り 組まれる自治体の方々が増えてい るのも嬉しい変化です。今後も、 専門誌としてまちの皆さんの愛着 を育むような広報活動のヒントに なる情報を多数お届けしていきた いと考えています。

日本で唯一の広報実務者の ための専門誌。企業・自治 体など、あらゆる組織に対 して、実践に役立つ広報の 基本と最先端の事例を届け



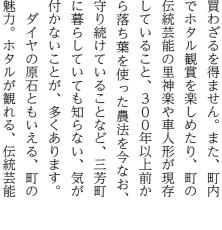
## 住民の質別の写真で

「広報みよし」では、2014年 11 月号の表紙「いもを掘った女 の子 | の写真が 2015 年全国広 報コンクールの内閣総理大臣賞 を受賞するなど、いつも素敵な 写真が表紙を飾っています。ま た、「いも掘りまつり」の特集号 では、毎年住民の写真がたくさ ん掲載されます。2017年9月 号の特集「FAN=FUN 三芳町 | では、紙面が住民の笑顔であふ れています。笑顔は人を幸せな 気持ちにしてくれます。広報紙 に住民の笑顔があふれていれば、 広報紙を読むのが楽しみになる でしょう。そして、広報紙を通 じてまちのことを、ますます好 きになるかもしれません。広報 紙は、行政からのお知らせを伝 えるだけではなく、住んでいる まちを好きになる役割もあると 思います。それを、「広報みよし」 は、住民の笑顔の写真で実践し ているのではないでしょうか。





町の特産品さつまいもを持ち上げる力強さと笑顔がいも掘り まつりの楽しさを表現していると評価され、内閣総理大臣賞 に。自然豊かな三芳町だから撮影できた1枚です。



関

昆虫採集をすることができます

人たちは昆虫を

届けてい

るのが広報みよしの特徴

ダイヤの原石を発掘し、

、住民の笑顔にあふれて

います。

町に関心を持ち、

好きに

るためには必要なの

のこと

園などで気軽にカブト

ムシなどの

当たり前と思って

いることが、

実

普段何気ないコト、

宝物になることもありま

自然豊かな三芳町では、

緑地公

磨 ダ

いィ てヤ

届の

で原石を

だけで ておが う事 は 実 な

地域の情報をお届け を当て に わ る 三芳町 して ならでは 61 磨いて 、ます。



定期的に開催している SNAP 撮影会など毎回 笑顔あふれる住民の皆さんが紙面に登場。広報 みよしは、住民と一緒に作られています。

代ではとても貴重です を これ 広報みよしは皆さんへ 「知る」こと からも皆さんと 住民目線を大切に 必ず手に届く広報紙は、 読む価値、 意味の

のラブ

地域に密 あるもの







【写真右】毎年5月下旬ごろにこぶしの里にホタルが舞います。その陰 には、地元のボランティアの尽力があることを平成28年6月号で特集。 【写真左上下】みよしまつりと世界一のいも掘りまつりのイベントレポー ト。町の魅力を写真で伝えるため、積極的に現場に出ます。香りや風、 音など写真で伝わりきらない臨場感は文章で補足。取材先で出会う皆さ んとの会話は大切な時間。広聴も重要な広報活動です。











ダイヤの原石を磨き、心を込めてお届手に取って、まずは開いて読んでほし皆さんのお手元に届く広報紙。

